



座談会出席者

- | | |
|---------------|-------------|
| 日比野登さん (教授) | 堀口和哉さん (学生) |
| 岩見良太郎さん (助教授) | 浜高美紀さん (学生) |
| 寺田良一さん (助教授) | 松本四郎さん (司会) |
| 石原哲也さん (学生) | 都倉昭二 (市長) |
| 五十嵐和枝さん (学生) | |

大学にかけてきた市民の夢、いよいよ念願の社会学科が動き出した。新しい先生と学生を市役所に迎え、大学と都留のまちについて話し合ってもらった。

都留文科社会学科がスタート!! 地域リーダーの養成をめざし

市長 学生のみなさん、ご入学おめでとうございます。都留文科大学は、昭和三十三年に四年制の大学となりました。その大学の歴史は、市制施行と同時に始まりました。本市は、かつて甲府につぐまちとして栄えましたが、時代とともにその面影も薄れ、初代の市長であった小林氏が、ここに教員養成所を設置し、学園都市として歩むその基礎を作ったわけです。その後、短大、大学と発展し、市民の協力により現在に至ったわけです。みなさんご承知のとおり、人口三万三千人の小さなまちですが、市制施行と同時に大学にかけてきた市民の夢は、本当に大きかったわけです。

今回の社会学科設置に伴い、優秀な学生と素晴らしい先生方を迎えられ、私も喜んで一人です。地域発展の活路となる都留文科大学と学生のために、私たちはお役に立ちたいという気持ちで一杯です。今日は、社会学科の紹介を含め、大学やこのまちについて、率直なご意見、苦言などをいただければと思います。**松本** 入学して一カ月、やっと授業も軌道に乗ったことと思います。それでは、学生諸君に授業とか生活などの感想についてお伺いします。

石原 一人で暮らしますと、自由はありますが、ちょっと寂しいような気がします。大学でも何を勉強しているのかちょっと分からないし、授業の内容は、みんな同じような気もするし、全然違う事をしていっているような気がします。専門科目になったら特にそんな気がしません。**松本** 専門の授業の感想は、どうですか？**石原** 色々な専門がありますが、どれも同じような内容をしゃべっているような感じがします。また、高校なら教科書に重要な事は太字で書いてありますが、大学だとそれが重要なのか、ちょっと把握できません。**松本** 勉強での戸惑いみたいなものがあるわけですね。**五十嵐** さんどうですか？**五十嵐** 入学して一カ月経って、駅の場所なんかも分かりかけてきて、ようやく慣れたところですが、これから何を勉強して行けば良いのか考えて、四年間がんばりたいと思います。**堀口** そろそろこちらに来て、一カ月になります。